
勃った話。

立川寿限無

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

勃った話。

【Nコード】

N8063Y

【作者名】

立川寿限無

【あらすじ】

ただでさえ妙な掌編小説を書いている立川寿限無が、掲示板などで語られる「くだらない日本での素晴らしい日常」を編集。

少し平和な気分になれる話を集めたオムニバス系小説。

配達先にて

とある運輸企業に勤めていた俺は、よくわからん名前の商品を配達しに行った。

季節は冬だったので、日が暮れるのが早く、6時頃になると真っ暗になった。小心者の俺は一人で配達に行くのさえ抵抗があったので行きたくなかったが、やはり社会人として、多少我慢しなくてはならず、バイクで夜道を走った。

配達場所にはすぐ着いた。寒いので、さっさとハンコ押してもらって帰りたいかった。

インターホンを押した。

しばらくして、若い女性が、うれしそうに出てきた。まるで残業から帰ってきた父に、はしゃぐ子供のよう。

だが、うれしそうに出迎えられる心当たりは俺にない。女性は僕の顔をみると、みるみる内に、さっきまでの表情が、くもっていた。

思わず「どうしました？」と聞いてしまった。

すると、女性の顔はボツと赤くなった。感情がすぐ顔にでるようだった。

「ごめんなさい……。夫が帰ってきたとばかり……。…」

と、恥ずかしそうに女性は笑った。

俺はその女性の夫に「いい嫁を貰ったな」と思った。それと同時に、

勃った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8063y/>

勃った話。

2011年11月23日22時52分発行